


音楽 No.2

このワークシートは学習のあと、
先生にわたしましょう。

5年組
名前 _____

めあて 和音や低音のはたらきを感じ取ろう

- * 歌唱・器楽教材の音源は、授業での聴取または学校 HP 等からの限定配信をご利用ください。
学校からの配信は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 SARTRAS へ登録・申請のうえ、パスワード等を用いた限定配信及びストリーミング配信（ダウンロード不可）で行ってください。
- * 歌唱や吹奏楽器の扱いは、家庭等校外での活動を視野に作成しています。
授業で扱う場合はマスクの着用やソーシャルディスタンス、衛生面等にご留意ください。

問題中の  のマークは、下記サイトのワークシートの下に音げんデータがあり、きくことができます。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/textbook/shou/ongaku/document/ducu2/docu208/ws-2-1.html#05>

1. 教科書 12 ページ「茶色の小びん」の楽ふを見ながら、音げんをきいたり、歌ったりしてみましょう。
★くり返し記号と、1番かっこ・2番かっこについて知り、曲の進み方を確かめて歌いましょう。

2. 「茶色の小びん」の1番は、全部で何小節あるでしょうか。

小節

3. 「茶色のこびん」のリコーダーパートに「ドレミ」を書いてみましょう。



4. せんりつをドレミで歌ってから、指づかいを確かめながらふいてみましょう。

* リコーダーの指づかいは、教科書 77 ページで調べましょう。

5 音げんに合わせて、せんりつをリコーダーでふいてみましょう。

*高い音が出しにくいときは、「ティ」などのタンギングでふいてみましょう。

6. ヘ音記号の楽ふの読み方をおぼえて、楽ふの下に「ドレミ」を書いてみましょう。



()

7. けんぱん楽器で、「茶色の小びん」の低音パートを演そうしてみましょう。

♪521

★教科書 13 ページで、左手の指づかいを確かめて演そうしましょう。できたら○をつけましょう。

*けんぱんハーモニカで演そうするときは、低い音は出ないので、まん中の音で演そうします。

このパートは、ほとんど同じ 4 小節を何度もくり返していることに注目しましょう。

() 演そうしてみた

8. けんぱん楽器で、教科書 14 ページの「茶色の小びん」の和音を演そうしてみましょう。

♪522

★4 小節の和音をくり返しけんぱんハーモニカでふいてみて、なれたら、「茶色の小びん」の音げんに合わせて演そうしてみましょう。できたら○をつけましょう。

*和音も、同じ 4 小節をくり返していることに注目しましょう。

() 演そうしてみた

9. 教科書 14 ページの、ハ長調の音階と和音について読みましょう。

また、楽器で音階や和音を演そうしてみましょう。できたら○をつけましょう。

♪523 音階

() 読んだ

() 演そうしてみた

♪524 和音

10. 教科書 15 ページの和音を演そうしたり、合うポーズを考えたりしましょう。できたら○をつけましょう。

() <コース 1>の和音を演そうした

() <コース 2>の和音を演そうした

() 和音に合うポーズを考えた

♪525 コース 1

♪526 コース 2

11. 教科書16ページの「こきょうの人々」の楽ふを見ながら、音げんを聴いたり、歌ったりしてみましよう。できたら○をつけましよう。

- () 音げんに合わせて歌った
- () 和音の各音をドレミで確かめ、演そうした
- () 低音の各音をドレミで確かめ、演そうした

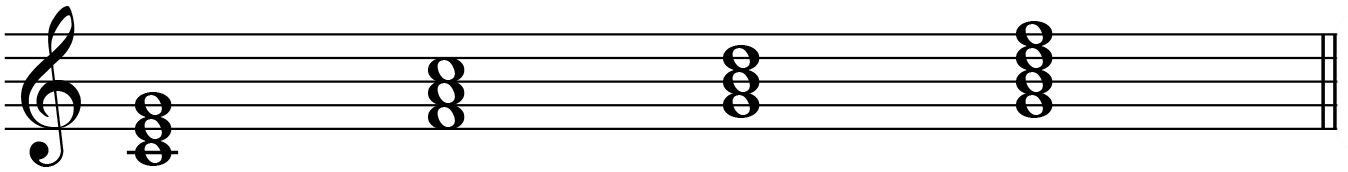
♪527 和音

♪528 低音

*** けんばんハーモニカを使う場合は、低い音は出ないので、真ん中の音で演そうします。**

- () 和音または低音のパートを、音げんに合わせて演そうしてみた

かくにんコーナー 和音の下に、何度の和音か書ましよう。



() 度の和音) () 度の和音) () 度の和音) () 度の 和音)

16小節

【2のこたえ】